とうけい かわら版

総合企画局情報統計課

平成 11 年 10 月 27 日 (No. 122)

昭和49年以来の 前年割れ

市内の自動車保有台数(軽自動車を除く)

平成 11 年 3 月 31 日現在の京都市内の 自動車保有台数(軽自動車を除く)は 47 万 5179 台,前年に比べて 1,751 台, 0.4 徐減少しています。昭和 49年にオイル・ ショックの影響で台数が減少して以来 25 年ぶりです。(表,図-1)

種類別にみますと,乗用車の普通車(エンジンの総排気量(cc)が 2,000 を超えるもの)は増加しているものの,小型車(総排気量が 660 を超え 2,000 以下)が前年比7,463台と大きく減少しています。

平成総不況の影響か、昨年10月、新規格が導入され安全性が向上した軽自動車 (総排気量が 660 以下)人気の高まりが 原因でしょうか。小型車台数の今後の動 向が注目されるところです。

(資料:近畿運輸局京都陸運支局 「自動車保有車両数調」)

表-1 行政区別自動車保有台数

各年3月31日

行政区	平成 11 年	平成 10 年	対前年増
144×12	1754 11 1	1792 10 1	加率(%)
京都市	475,179	476,930	$\triangle 0.4$
北 区	34,916	34,995	$\triangle 0.2$
上京区	19,774	20,012	$\triangle 1.2$
左京区	47,191	47,143	0.1
中京区	28,405	28,661	$\triangle 0.9$
東山区	9,712	9,877	$\triangle 1.7$
山科区	47,808	47,920	$\triangle 0.2$
下京区	25,185	25,548	$\triangle 1.4$
南 区	53,313	54,161	△1.6
右京区	60,495	61,120	$\triangle 1.0$
西京区	49,986	49,327	1.3
伏見区	98,394	98,166	0.2

図-1 市内自動車保有台数の推移

(各年3月31日)

